

第 3 期中期目標期間の終了時に見込まれる
業務実績に関する項目別評価

令和 7 年 8 月 26 日

地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会

第1項 評価結果一覧

中期計画・年度計画に定める項目			評価		配分 % (c)	点	
大項目	中項目	小項目	法人 (a)	評価 委員会 (b)		法人 (a×c)	評価 委員会 (b×c)
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	1 公立病院としての役割の発揮と責務の遂行	(1) 救急医療への対応	4	4	5	20	20
		(2) 災害時における機能の強化	5	5	5	25	25
		(3) 感染症対策の強化	5	5	5	25	25
		(4) 地域の中核医療機関としての役割の発揮	5	5	5	25	25
					20	95 (4.75)	95 (4.75)
	2 高度・専門医療の提供	(1) がん医療の充実	4	4	5	20	20
		(2) 循環器疾患にかかる医療の充実	4	4	5	20	20
		(3) 消化器疾患にかかる医療の充実	4	4	5	20	20
		(4) 周産期医療の充実	4	5	5	20	25
		(5) 小児医療の充実	5	5	5	25	25
		(6) センター診療機能の更なる充実	4	4	5	20	20
		(7) 総合診療体制とチーム医療の充実	5	5	5	25	25
		(8) 高度・専門医療を提供する人材の確保と育成	5	5	5	25	25
					40	175 (4.37)	180 (4.50)
	3 安全で信頼される医療の提供	(1) 医療安全管理及び感染対策の徹底	4	4	5	20	20
		(2) 患者とともに進める医療の推進とサービスの充実	4	4	5	20	20
					10	40 (4.00)	40 (4.00)
	大項目1の合計（14項目）				70	310 (4.42) A	315 (4.50) S

中期計画・年度計画に定める項目			評価		配分 % (c)	点	
大項目	中項目	小項目	法人 (a)	評価 委員会 (b)		法人 (a×c)	評価 委員会 (b×c)
2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	1 自律性・機動性・透明性の高い組織運営	(1) 効率的・効果的な組織運営	4	4	4	16	16
		(2) コンプライアンスの徹底	4	4	4	16	16
					8	32 (4.00)	32 (4.00)
	2 働きやすく、やりがいのある職場づくり	(1) やりがいづくり、モチベーションアップへの取組の充実	4	4	5	20	20
		(2) 働き方改革の推進	4	4	5	20	20
					10	40 (4.00)	40 (4.00)
	大項目2の合計（4項目）				18	72 (4.00) A	72 (4.00) A
3 財務内容の改善に関する事項	1 経営基盤の強化		5	5	5	25	25
	2 収入の確保及び費用の最適化		5	5	5	25	25
	大項目3の合計（2項目）				10	50 (5.00) S	50 (5.00) S
4 その他業務運営に関する重要事項	1 地域社会への貢献	(1) 地域社会との協働の推進	4	4	2	8	8
					2	8 (4.00)	8 (4.00)
	大項目4の合計（1項目）				2	8 (4.00) A	8 (4.00) A

〈加算項目〉

中期計画・年度計画に定める項目			評価		加算 比率 % (c)	加算	
大項目	中項目	小項目	法人 (a)	評価 委員会 (b)		法人 (a×c)	評価 委員会 (b×c)
4 その他業務運営に関する重要事項	1 地域社会への貢献	(2) 市施策への協力	3	4	3	9	12

第2項 項目別評価

(1) 大項目評価結果一覧

大項目1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

小項目評価点	配分比率	大項目評価点	評価結果				
315 点	70	4.50 点	S	A	B	C	D

大項目2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

小項目評価点	配分比率	大項目評価点	評価結果				
72 点	18	4.00 点	S	A	B	C	D

大項目3 財務内容の改善に関する事項

小項目評価点	配分比率	大項目評価点	評価結果				
50 点	10	5.00 点	S	A	B	C	D

大項目4 その他業務運営に関する重要事項

小項目評価点	配分比率	大項目評価点	評価結果				
8 点	2	4.00 点	S	A	B	C	D

大項目4 その他業務運営に関する重要事項（加点項目）

小項目評価点	加点比率	加点
4 点	3	12 点

【地方独立行政法人加古川市民病院機構 中期目標期間見込評価実施要領（抜粋）】

別表4 大項目評価における評価の基準

評価	コメント	評価の基準
S	中期目標・中期計画を大幅に上回る見込みで、特に評価すべき状況にある。	$4.5 \leq X$
A	中期目標・中期計画を十分達成する見込みである。	$3.5 \leq X < 4.5$
B	中期目標・中期計画を概ね達成する見込みである。	$2.5 \leq X < 3.5$
C	中期目標・中期計画をやや未達成になる見込みである。	$1.5 \leq X < 2.5$
D	中期目標・中期計画を大幅に下回る見込み、または重大な改善すべき事項がある。	$X < 1.5$

備考

- 1 Xは、当該大項目内の各小項目評価の評点に別表2の配分比率を加味して導いた評価点。
- 2 評価に当たっては、当該大項目内の各小項目評価の評点から大項目全体を機械的に判断するだけでなく、必要に応じ、重要な意義を有する事項や優れた取組がなされている事項その他法人を取り巻く諸事情も考慮して行う。

(2) 大項目別評価

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

① 評価結果

S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に 進んでいる	B 概ね順調に 進んでいる	C やや 遅れている	D 大幅に 遅れている
----------------------	-------------------	---------------------	------------------	-------------------

14項目のうち、「災害時における機能の強化」をはじめ7項目で中期計画を十分に達成しており、残りの7項目についても、中期計画を達成している。

中期目標期間見込評価実施要領に基づき、小項目評価より算出した当該大項目の評価点は「4.50」であり、4.5以上であることから「中期目標・中期計画を大幅に上回る見込みで、特に評価すべき状況にある。」と判断した。

【小項目評価による評価点の算出】

中項目	小項目	配分 % (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	評価点 (d)
1 公立病院としての役割の発揮と責務の遂行	(1) 救急医療への対応	5	4	4	20
	(2) 災害時における機能の強化	5	5	5	25
	(3) 感染症対策の強化	5	5	5	25
	(4) 地域の中核医療機関としての役割の発揮	5	5	5	25
	中項目 計	20	-	-	95 (4.75)
2 高度・専門医療の提供	(1) がん医療の充実	5	4	4	20
	(2) 循環器疾患にかかる医療の充実	5	4	4	20
	(3) 消化器疾患にかかる医療の充実	5	4	4	20
	(4) 周産期医療の充実	5	4	5	25
	(5) 小児医療の充実	5	5	5	25
	(6) センター診療機能の更なる充実	5	4	4	20
	(7) 総合診療体制とチーム医療の充実	5	5	5	25
	(8) 高度・専門医療を提供する人材の確保と育成	5	5	5	25

	中項目 計	40	-	-	180 (4.50)
3 安全で信頼される医療の提供	(1) 医療安全管理及び感染対策の徹底	5	4	4	20
	(2) 患者とともに進める医療の推進とサービスの充実	5	4	4	20
	中項目 計	10	-	-	40 (4.00)
合 計		70	-	-	315 (4.50)

※ 大項目評価の評価点の算出方法

[小項目評価(c) × 配分(a)] の合計 ÷ 配分(a) の合計

= 315 ÷ 70

≒ 4.50

② 特筆すべき小項目評価

1-(1) 救急医療への対応

【評価：4】

- ・コロナ禍では他の医療機関が二次救急として受入困難な患者に対応し、地域の二次救急医療の中核的な役割を十分に果たせたと言える。
- ・救急車受入件数は増加している。救急要請自体の件数が増加していることにより、救急車受入要請に対する不応率が悪化していることが見て取れる。心臓血管センター等の24時間365日の救急受入体制の維持は、地域の二次救急医療機関としての役割を果たしていると評価できる。
- ・24時間365日の救急車受け入れ態勢を維持し、二次・三次救急医療の役割を担った。
- ・不応率の数値目標が未達であるものの、地域の救急医療を担うため、計画を大きく上回る救急車受入を実現した結果であり、その努力は大いに評価できる。

1-(2) 災害時における機能の強化

【評価：5】

- ・DMATを発足し、災害拠点病院としての体制を整備している。被災地支援活動や大規模災害時の訓練、災害の発生に備えた衛生材料等の確保、災害医療チームの活動強化などに取り組んでいることは評価できる。
- ・目標を達成している。DMAT隊員の2隊編成が可能となったことにより、災害時における救急体制がより整備された。
- ・災害拠点病院として医療チームの派遣・被災地支援を行った。
- ・EMISへの参画のほか、災害派遣医療チームの編成も順調に進んでいる。また、物的・人的側面でも継続的に災害時に備えた機能強化に取り組んでいる点は高く評価できる。

1-(3) 感染症対策の強化

【評価：5】

- ・コロナ禍では県と連携を図り、新型コロナウイルス感染症重点医療機関として機能、役割を維持した。
- ・コロナ禍が落ち着いとは言え、備えは必要である。資材の備蓄が3ヶ月分あり、感染症対策診療継続計画に従った診療を行ったことは評価できる。
- ・コロナ禍において感染症重点医療機関としての機能を維持した。
- ・新型コロナウイルス感染症という未曾有の危機の中、しっかりとリスクをコントロールしながら、地域医療を支え続けたうえ、実績を上げた点は特に評価できる。

1-(4) 地域の中核医療機関としての役割の発揮

【評価：5】

- ・目標指標は達成され、地域の医療機関等と連携を図り、地域包括ケアシステムの推進に貢献している。人間ドックの提供、健康講座や啓発活動により、地域住民の予防医療への意識啓発に大きな成果、役割を果たしている。

- ・いずれの目標も達成しており、公式 LINE での情報発信等、住民に対するサービスは向上している。
- ・地域包括ケアシステムの推進に貢献し地域の医療機関との連携を図った。
- ・全ての数値目標と中期計画目標の項目を達成しており、地域医療支援病院として、十分な結果を出したものと評価できる。

2－(1) がん医療の充実

【評価：4】

- ・新たな領域で手術支援ロボットによる治療を行っている。終末期がん患者に対して、2024 年度に緩和ケア科および緩和ケア病棟を開設したことに関し、今後の運用に期待する。
- ・がん登録件数は減少しているが、化学療法件数や緩和ケアチーム介入件数は増加しており、がん治療に対して積極的な取組が評価できる。
- ・がん集学的治療センターの充実に努めた。
- ・数値目標及び中期計画目標の一部未達であるが、緩和ケアの創設など、その他は良好な水準と考える。引き続き、がん登録件数の増加に向けた取組及び婦人科領域のがん治療に向けた体制整備を期待したい。

2－(2) 循環器疾患にかかる医療の充実

【評価：4】

- ・一部目標指標に到達していない項目はあるが、24 時間 365 日体制で急性期循環器症例を堅持して地域医療の役割を担っている。
- ・PCI、PTA の件数は減少しているものの、心不全ホットラインの開設やリハビリテーション実施件数の大幅な増加など、積極的な取組を評価する。
- ・循環器疾患の拠点病院として緊急搬送の受け入れ・高度専門医療の提供・心不全地域連携パスの確立等、地域支援体制を構築・維持している。
- ・数値目標、中期計画の目標とも、概ね達成しており評価できる。数値目標未達の PCI 及び PTA 件数については、患者の実情も踏まえて目標設定の見直しを検討されたい。

2－(3) 消化器疾患にかかる医療の充実

【評価：4】

- ・緊急内視鏡治療に関して地域の救急医療をカバーしている。直腸がんに対して低侵襲の治療を行うなど、新たな分野に手術支援ロボットの適応を実施している。高度肥満疾患に対する多職種による肥満外科チームの今後の活動に期待する。
- ・目標未達の項目もあるが、ダヴィンチでの手術の適用範囲を結腸がんに広げる等、新しい治療方法を推進したことを評価する。
- ・内科と外科が一体となって消化器センターの総合的な診療体制を築いた。
- ・内視鏡検査については、中期目標を上回る結果であり、ダヴィンチの適用も開始するなど、順調に結果を出している。EMR や ESD 件数増に期待したい。

2－(4) 周産期医療の充実

【評価：5】

- ・地域周産期母子センターとして地域の三次救急の役割を担い、24 時間 365 日にわたり緊急性の高い母体や新生児救急症例、圏域外からの新型コロナウイルス感染症母体受入要請に対応したことは大きく評価される。
- ・目標達成率はほぼ 100%で、地域周産期医療母子センターの機能を果たしている。
- ・新生児緊急搬送・高度医療の提供体制を維持し三次救急の役割を担った。
- ・コロナ禍での高リスク妊産婦の出産を支え、少子化が進む中でも、分娩件数やハイリスク妊産婦の受け入れが増加傾向にあり、地域の周産期医療への貢献は非常に大きいと評価する。

2－(5) 小児医療の充実

【評価：5】

- ・目標指標を大きく達成している。24 時間 365 日の緊急受入体制を堅持し、新型コロナウイルス感染症患児の治療を行ったことは評価される。
- ・目標を大きく上回って達成しており、様々な分野との連携が評価できる。
- ・こどもセンターは県下の小児地域医療センターとして最も優れた医療体制を確立した。

- ・中期目標のすべてを達成するとともに、数値目標も大幅に上回る結果を出しており、地域における小児科医療の拠点として期待以上の結果を出している。

2－(6) センター診療機能の更なる充実 【評価：4】

- ・今後も地域の呼吸器センターとしての機能を充実していくことを期待する。
- ・呼吸器センターを有効活用し、高度な医療の提供及び人材育成を期待する。
- ・呼吸器センターとしての機能を充実させた。
- ・2023年1月に、呼吸器センターの設置を実現し、その後も高度専門医療の充実を図っており評価できる。

2－(7) 総合診療体制とチーム医療の充実 【評価：5】

- ・手術室の増室、がんゲノム外来開始、集中治療領域の編成など高度・専門医療の提供に取り組んでいる。チーム医療では管理栄養士・理学療法士・看護師などの活動により成果となっている。
- ・目標数値を達成しており、高度・専門医療の提供及びチーム医療も推進している。
- ・達成率が充実しており、質の高いチーム医療を提供できた。
- ・中期目標項目、数値目標もすべて達成しており、総合診療体制とチーム医療の充実という目標は十分に達成されている。

2－(8) 高度・専門医療を提供する人材の確保と育成 【評価：5】

- ・急性期病院として、初期研修専攻医に様々な研修プログラムを用意し、知識と経験を習得する環境を整備していることは人材の確保と育成につながり、成果となっている。
- ・医師、看護師の数も目標を達成しており、研修制度も充実している。専門医の資格取得者も増えており、人材確保と育成の点で十分な結果を残している。
- ・達成率が充実しており、安定的な医療体制を維持し、人材育成に寄与した。
- ・医師不足、人材不足が社会問題となる中で、中期目標を大きく上回る医師や研修医の採用実績が継続していることは、十分な結果を出していると評価できる。

3－(1) 医療安全管理及び感染対策の徹底 【評価：4】

- ・ヒヤリハットレポート、インシデント検討など、医療安全の透明性確保を徹底し、安全性の向上に取り組んでいることは評価される。新興感染症対策として、医師会をはじめとする地域全体で訓練を実施していることも評価される。
- ・ヒヤリハット件数及びインシデント件数は計画当初より増加傾向にある一方で、定期的な研修を行い、院内の安全・感染対策に注力していることは評価できる。
- ・安全管理を徹底し、新興感染症発生に対応できる体制・対策の強化に努めた。
- ・中期目標項目をすべて達成しており、医療安全管理及び感染症対策の結果、大きな事故やインシデントもなく推移しており、高く評価できる。

3－(2) 患者とともに進める医療の推進とサービスの充実 【評価：4】

- ・患者満足度(入院・外来)は高い水準を維持している。患者中心の医療の充実のため、メール呼び出しサービスなど多くの活動に取り組んでいることも評価される。
- ・目標数値は達成しており、外来待ち時間の短縮に努める等、サービスの充実を推進している。
- ・患者ニーズを的確に把握し、提供するサービス全般の満足度向上に取り組んだ。
- ・数値目標に届かない項目があるものの、わずかな数値差である。他方で、継続的に高水準の患者満足度を維持している点を考慮すると、概ね中期計画は達成されたと。

2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

① 評価結果

S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に 進んでいる	B 概ね順調に 進んでいる	C やや 遅れている	D 大幅に 遅れている
----------------------	-------------------	---------------------	------------------	-------------------

4項目のうち、「効率的・効果的な組織運営」をはじめ全ての項目で中期計画を達成している。

中期目標期間見込評価実施要領に基づき小項目評価より算出した当該大項目の評価点は「4.00」であり、3.5以上4.5未満であることから「中期目標・中期計画を十分達成する見込みである。」と判断した。

【小項目評価による評価点の算出】

中項目	小項目	配分 % (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	評価点 (d)
1 自律性・機動性・透明性の高い組織運営	(1) 効率的・効果的な組織運営	4	4	4	16
	(2) コンプライアンスの徹底	4	4	4	16
	中項目 計	8	-	-	32 (4.00)
2 働きやすく、やりがいのある職場づくり	(1) やりがいづくり、モチベーションアップへの取組の充実	5	4	4	20
	(2) 働き方改革の推進	5	4	4	20
	中項目 計	10	-	-	40 (4.00)
合 計		18	-	-	72 (4.00)

※ 大項目評価の評価点の算出方法

$$\begin{aligned}
 & \left[\text{小項目評価(c)} \times \text{配分(a)} \right] \text{の合計} \div \text{配分(a)の合計} \\
 & = 72 \div 18 \\
 & = 4.00
 \end{aligned}$$

② 特筆すべき小項目評価

1-(1) 効率的・効果的な組織運営

【評価：4】

- ・職員による経営分析、戦略立案を中心にサポート体制が整備されている。ICTをはじめとするデジタル技術の導入により、業務の効率化につながっていると評価される。
- ・目標管理の実施、課題の共有等、業務の効率化を推進していることを評価する。また、公式LINEの開設、ホームページ等で地域住民に組織運営の情報を提供することで、地域に開かれた病院づくりに努めている。
- ・所管業務・職務権限を明確化し、稼働実績や経理状況などの経営情報を共有する風土が定着した。
- ・BSCシート、電子決済、ペーパーレス会議等、医療DXを積極的に導入し、効率的・効果的な組織運営がなされていると評価する。

1－(2) コンプライアンスの徹底

【評価：4】

- ・毎年コンプライアンス推進計画を策定し、不正やハラスメントに関する公益通報体制も整備している。コンプライアンス研修等が適切に運用され、成果につながっている。
- ・情報開示件数やコンプライアンス研修参加者数ともに増加しており、病院全体での意識の高さが表れている。しかし、コンプライアンスは年々要請が厳しくなるため、常に努力が必要と考える。
- ・情報開示による透明性の確保や公益通報制度の適切な運用によりコンプライアンスを確保できた。
- ・一定の問題は発生しているものの、目標項目は達成しており、かつ関係法令を遵守した病院運営が行われ、概ね目標を達成していると評価できる。

2－(1) やりがいづくり、モチベーションアップへの取組の充実 【評価：4】

- ・職員とのコミュニケーションにより、各職員のニーズの変化を汲んだ取組を今後も期待する。
- ・目標は達成している。システミックコーチングの導入によるコミュニケーションの活性化や職員の表彰等がモチベーションのアップに寄与している。
- ・能力が客観的・適正に評価されるプロジェクトの推進により、職員のモチベーションアップにつながった。
- ・数値目標も中期計画の目標項目も達成しており、従業員のやりがいづくりやモチベーションアップが適切に図られている。ただし、職員満足度が低下傾向にあるため、引き続き取組の充実を期待する。

2－(2) 働き方改革の推進

【評価：4】

- ・変則労働時間の設定やシフト勤務を活用しながら時間外勤務の削減に取り組んでおり、今後も働き方改革の推進の継続を期待する。
- ・看護職・事務職における長時間勤務実績は減少しているが、医師職における長時間勤務実績は増加している。SMAのさらなる育成を期待する。
- ・多職種の協力のもとにタスクシフト・シェアを実施したことや医師のSMAの育成により負担軽減を促進した。
- ・中期計画の目標はすべて達成されているうえ、大きく変化した労働法制にも的確に対応しており、働き方改革の推進については十分に評価できる。

3 財務内容の改善に関する事項

① 評価結果

S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に 進んでいる	B 概ね順調に 進んでいる	C やや 遅れている	D 大幅に 遅れている
----------------------	-------------------	---------------------	------------------	-------------------

「経営基盤の強化」及び「収入の確保及び費用の最適化」のいずれの項目も中期計画を十分に達成している。

中期目標期間見込評価実施要領に基づき小項目評価より算出した当該大項目の評価点は「5.00」であり、4.5以上であることから「中期目標・中期計画を大幅に上回る見込みで、特に評価すべき状況にある。」と判断した。

【小項目評価による評価点の算出】

中項目	小項目	配分 % (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	評価点 (d)
1 経営基盤の強化	※ 小項目なし	5	5	5	25
	中項目 計	5	-	-	25 (5.00)
2 収入の確保及び 費用の最適化	※ 小項目なし	5	5	5	25
	中項目 計	5	-	-	25 (5.00)
合 計		10	-	-	50 (5.00)

※ 大項目評価の評価点の算出方法

$$\begin{aligned}
 & [\text{小項目評価(c)} \times \text{配分(a)}] \text{の合計} \div \text{配分(a)の合計} \\
 & = 50 \div 10 \\
 & = 5.00
 \end{aligned}$$

② 特筆すべき小項目評価

1 経営基盤の強化

【評価：5】

- ・人口推計やDPCデータを用いた将来の受療予測を「人員配置計画」など多方面に活用している点は評価される。コロナ禍において医療と経営の両立を図り、経営基盤の安定を実現していることについても評価される。
- ・経常収支比率のみ低下しているが、ほぼ健全な状態である。経営基盤はより強固となっている。
- ・達成率が充実しており、収益の確保と費用の抑制を図り収支均衡を保った。
- ・大半がコロナ禍にあった中期計画期間中、非常に効率的かつ的確な病院運営がなされた。これは所期の目標を上回る特に優れた結果であった。

2 収入の確保及び費用の最適化

【評価：5】

- ・診療報酬の改定や医療制度の変更に迅速かつ的確に対応し、収入の確保につながっている。徹底したコスト管理により、費用の最適化を図っていることは評価される。
- ・材料費、医薬品費等の値上がりが大きく、比率は目標を達成していない。値上がりは今後も続くと思われるため、収入を増加させながら費用の削減にも注力してほしい。
- ・診療報酬改定に迅速かつ的確に対応し、収入の確保に努めるとともに費用の最適化を図った。
- ・細かな改善努力を着実に重ねた結果、中期経営計画の目標や目標指標も概ね達成できていると評価できる。

4 その他業務運営に関する重要事項

① 評価結果

S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に 進んでいる	B 概ね順調に 進んでいる	C やや 遅れている	D 大幅に 遅れている
----------------------	-------------------	---------------------	------------------	-------------------

「地域社会との協働の推進」の項目について、中期計画を達成している。

中期目標期間見込評価実施要領に基づき小項目評価より算出した当該大項目の評価点は「4.00」であり、3.5以上4.5未満であることから「中期目標・中期計画を十分達成する見込みである。」と判断した。

【小項目評価による評価点の算出】

中項目	小項目	配分 % (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	評価点 (d)
1 地域社会への貢献	(1) 地域社会との協働の推進	2	4	4	8
	中項目 計	2	-	-	8 (4.00)
合 計		2	-	-	8 (4.00)

※ 大項目評価の評価点の算出方法

$$\begin{aligned}
 & \left[\text{小項目評価(c)} \times \text{配分(a)} \right] \text{の合計} \div \text{配分(a)の合計} \\
 & = 8 \div 2 \\
 & = 4.00
 \end{aligned}$$

② 特筆すべき小項目評価

1-(1) 地域社会との協働の推進

【評価：4】

- ・行政が主催する協議会や会議へ参画し、地域住民との交流を通して信頼され、地域に開かれた病院への取組は評価される。
- ・コロナ禍が落ち着き、イベントに医師や看護師を派遣しているのは評価できる。ボランティアの増加が今後は望まれる。

- ・地域住民との交流事業を推進し、住民とのコミュニケーションを図った。
- ・行政が主催する様々な活動に積極的に参加することで地域住民との交流の場を広げており、中期計画の目標を概ね達成できていると評価する。

4 その他業務運営に関する重要事項〈加点項目〉

① 評価結果

加点 12点

「市施策への協力」の項目について、中期計画を達成している。

【小項目評価による加点の算出】

中項目	小項目	加点 比率 (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	加点 (d)
1 地域社会への貢献	(2) 市施策への協力	3	3	4	12

② 特筆すべき小項目評価

1－(2) 市施策への協力

【評価：4】

- ・コロナ禍において市民へのワクチン接種事業に協力し、スタッフの派遣を実施したことは評価される。
- ・加古川市主催のイベントに救護班の派遣をする等、地域社会との協働を期待する。
- ・コロナ禍において加古川市・加古川医師会が推進するコロナワクチン接種事業に協力し、スタッフの派遣を行ったことを評価する。
- ・加古川市の施策への積極的な協力ができていると評価できる。更に多方面での協力ができるよう、情報収集や市とのコミュニケーション等の強化を期待する。